

会だ



第297回定例会

青森県議会議員

●所属会派:青和会

発行:関 良(せきりょう)

電話番号: 017-787-3306

事務所: 〒038-0042 青森県青森市新城字平岡109-11

公式サイト: http://sekiryo.jp/

この基本理念のもと質問します。

えています。

若者の県内定着の促進について。

年この問題をテーマ別に取り上げ、 題提起し続けてきました。 である事から、私は県議二期目に選ばれてから毎 人口減少克服に向けた施策の充実が喫緊の課題 一般質問で問

極集中が更に拡大している実態が明らかになりま 報告からも人口流出に歯止めがかからず、 んできましたが、先月総務省が発表した人口移動 県では人口減少対策を最重点課題として取り組 東京一

伴い、進学や就職で県外へと転出していく18歳、20 歳、22歳の県外流出が突出しているので、この年代 人口移動を年齢別に見ると、高校、大学の卒業に

の良さ、魅力をもっと知ってもらう必要があります。 あわせて、どんな働く場があるか、どんな暮らしができるのかを含め本県 をいかに県内に定着させるかが対策の鍵を握るものと考えております。 また、高卒者や大卒者の中にはやりたい仕事が見つからないなどやむを 若者に農林水産、観光など、本県の強みを生かした分野での雇用創出と

元ならではの繋がりや支援による起業しやすい環 得ず首都圏に就職する例も少なくありません。 創業・起業においても多くの人は都市部での起業を考えがちですが、地

はないでしょうか。 ことが若者の定着に必要です。 若者が地元で希望する仕事に就き、夢を実現できる

境があれば、地元でチャレンジしようと思えるので

生み出すことができるように行政も後押しする必 用があると思います。 彼ら彼女らが青森から中央に向けて、新しい仕事を 若者が自ら考え、行動出来るような環境を創生し

そこで3点質問します。



送れるように支援をしていくべき事」が福祉の基本であると考

私は常に「弱者の立場に立って、弱者の方々が安心して人生を

青和会 関良議員 一般質問・答弁要旨

平成三十一年二月二十八日

ミュニティの機能低下など、本県の社会経済に大きな影響を与えることが 懸念されています。 本県の人口減少は昭和59年から始まっており、地域経済の縮小や地域コ

質問

若者による創業・起業の促進が重要であると考えるが、県はどのように

答弁・知事

取り組んでいくのか伺います。 てチャレンジし、地域の特色ある資源やアイディアを活かした起業家とし 起業の促進に向けた取組を進めてきました。意欲ある若者が目標に向かっ 私は、これまで、産業・雇用の創出を県政の最重要課題と位置づけ、創業

て活躍できるよう、今後とも創業・起業を積極的に促進していきます。

質問一

教育委員会の取組について伺います 高校生に県内企業の魅力を伝えるための県

答弁・教育委員長

連携したキャリア教育推進事業」を実施し、 ととしています。 た各世代の方々との座談会等の取組を行うこ 高校生が県内企業で働くことに対するイメー 県内企業で働く若手・中堅・ベテランといっ ジを持てるよう、企業訪問や講演会のほか 平成31年度においては、新たに、「地域と



質問一

の県内定着促進に向けた県の基本的な考え方について伺います。 若者がふるさとで夢を実現できる環境づくりが重要と考えるが、 若者

答弁・知事

えています 誇りを醸成していくことが極めて重要と考 を図るとともに、それぞれの将来を描いて いくためには、 示し、早い段階から、ふるさとへの自信と 方・働き方や本県の可能性をわかりやすく いく過程で、本県で実現できる多様な生き 県の未来を担う若者の県内定着を進めて 魅力ある雇用の創出・拡大

ばれる青森」の実現に向けた取組を強化し 働く場所・生きる場所として、若者に「選 あることをアピールしながら、学ぶ場所・ チャレンジを受け入れる懐深い活躍の地で 私は、本県が、若者の夢をかなえられる、



人口減少と高齢化に対応したまちづくりについて。

がコミュニティの中心を担う状況にあり、今後高齢世代の自然 念され、さらに郊外の住宅地では若者世代が転出して高齢世代 中心市街地では、シャッターの閉まった店舗が多く空洞化が懸 中で、既に市街地も郊外も街並みが大きく変わってきています。 減が進行したときに、空き家の増加やインフラの維持など新た すると推測していますが、急激に進む人口減少や少子高齢化の な課題が生じてくると考えられます 県では、今後、本県の人口は2080年以降80万人まで減少

活利便施設等にアクセスできるなど、時代に合わせて都市や交 あり、まちなかに医療・福祉施設、商業施設や住居等をまとめ 通ネットワーク全体を見直す発想も必要です。 つつ、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生 そのため、これからは、「都市を正しく縮めることも必要」で

の視点が重要ではないかと思います。 網の整備やインフラ対策を省力化する、地域が儲かる街づくり を中心市街地に誘導することで日常生活の消費を喚起し、交通 特に、郊外で買物や冬期間の雪かき等で難儀している高齢者

操車場跡地周辺地区を指定していますが、 青森市の立地適正化計画で、都市機能を誘導する区域として

新駅の整備は今後の地域の賑わいに重要 な役割を果たすものと考えています。 そこで2点質問します。

組を伺います。 に向けた県内市町村の取組状況と県の取 八口減少や高齢化に対応した街づくり

答弁・県土整備部長

る区域を設定し、公共交通を併せた持続可能なまちづくりを進 め、市町村へ計画策定を促し、人口減少や高齢化社会に対応し たまちづくりを推進していきます 福祉や医療、商業などを誘導する区域と、住宅などを誘導す

ているが、県ではどのように考えているのか伺 青森市の青森操車場跡地利用計画に新駅整備が盛り込まれ

答弁・県土整備部長

いただく必要があると考えております。 数などについて青森市から具体的な情報提供を 経営に資することが大前提であり、利用見込者 確保の見通しがあり、将来にわたり鉄道事業の 新駅整備については、何よりも安定的な需要



青森県立保健大学卒業生の 県内就職率向上について。

築くことを強く望まれて設置した大学です。 よる保健医療や福祉ニーズの増大・多様化に対応した福祉社会を 青森県立保健大学は、青森県において急速な高齢化や少子化に

と2年続けて目標を下回り、前年度よりも低下したとの答弁があ 対して、実績は平成28年度が37.9%、平成29年度が31.3% 問させていただきましたが、その際、県内就職率の中期計画に対 する達成状況について、卒業生の県内就職率の目標44.4%に 昨年6月の一般質問においても卒業生の県内就職率について質

や社会福祉法人などにおいても、求人の早期化や積極的な採用活 動など人材確保に向けた努力を進めていく必要があります。 いることを踏まえれば、大学側の取組だけでなく県内の医療機関 保健医療・福祉分野において全国的な人材確保競争が激化して

年間約10億円もの県費を投入していることを考えれば、県と大学 側でも抜本的な対策を講じていく時期にあると思います。 しかしながら、県立保健大学の運営には運営費交付金として、

県内出身の学生を増やすといった対策も必要ではないかと思い 関としての役割とのバランスも必要ですが、県内出身枠を設けて 県内出身と県外出身者の県内就職の状況などを分析し、研究機

そこで3点質問します

県内・県外出身別に卒業生の県内就職状況について伺います。

答弁・健康福祉部長

外出身者の県内就職状況は過去三年平均5%でした。 県内出身者の県内就職状況は、過去三年の平均で56%、 県

を伺います 県内出身者の入学を促進するための取り組み

答弁・健康福祉部長

減することで県内出身者の入学を支援しています 内出身の入学者確保に取り組み、経済的負担も軽 推薦入試において県内出身者の枠を設けて、県



けた抜本的な対策が必要と考えるが、県の見解を伺います。

県内就職率向上のためには、県内出身の入学者増加に

福祉分野で活躍していけるよう取り組んでいきたいと考え 社会に還元することを求め、優秀な人材が本県の保健・医療・ 大学の使命として、 人的資源や教育研究成果を広く地域

青森市西部地区の道路整備について

地区となっています。 県都青森市は東西に長く、その中で西部地区は未だ発展途上

めていますが未だ完成に至ってません。 号西滝新城線区」と、「津軽新城停車場油川線区」は事業として進 ありますが、一方、周辺道路では、特に「都市計画道路3・4・2 新青森駅周辺の生活道路は整備され、快適な環境が整いつつ

いるものの歩道が未整備で歩行者、 を切望されてきました。 学校、高等学校があり、通学道路となって に冬期間に於ける安全性向上の為、整備 車及び、通行車両の安全が確保されず、特 西滝新城線区は付近に病院、小学校、中

な渋滞が発生している地域です が、冬期間は特に道幅が狭くなり、慢性的 密集地に位置し途中に厚生病院や消防学 また、津軽新城停車場油川線区は住宅 県立北高校など多くの公共の施設が 交通量も多い狭隘な生活道路です

ますが、付近の住民からは早急に進めて欲しいとの強い要望が 有ります この二つの事業はすでに予算化され一部では工事が進んでい

そこで2点質問します

進捗状況とその延伸区間の今後の計画について伺います。 都市計画道路3・4・2号西滝新城線区」の石江工区の

答弁・県土整備部長

意努めて参ります。延伸区間である新城工区98%であり、引き続き早期完成に向けて、鋭石江工区の工事進捗率は事業費ベースで約 認識し、早期の事業着手に向け国との協議を 進めていきます については、拡幅整備の必要性の高い区間と



|津軽新城停車場油川線区」の進捗状況について伺います。

答弁・県土整備部長

完了した箇所について工事を実施する予定としております 来年度は、引き続き用地買収を進めるとともに、用地買収が は、今年度末で約4割となる見込みとなっております。 既に測量、設計、用地買収等を実施し、用地買収の進捗状況

皆様の青森県政に対するご意見をお聞かせ下さい 以上報告とさせていただきます

関良だより 第13号 2019年

- 関良(せきりょう)
- 事 青森市新城字平岡109ー